

残る  
消えゆく



中廿屋公民館辺り（写真中央、山へ向かう道が一文字坂）

# 地名のはなし

八

## 「一文字坂」のはなし

三和町の中廿屋（なかつづや）公民館の前を歩いて伊深町の大洞へ抜ける峠道は、「一文字坂（いちもんじざか）」や「一文坂（いちもんざか）」と呼ばれています。この一文字坂は、廿屋から関や富加町加治田へ行く主要な道の一つで、古くから多くの物資や人々が行き来してきた道でした。

地域の人によると、昔この峠を越えるとき、「一文」、つまりは幾らかのお駄賃を地元の人に払うと荷物を運んでくれたところからそう呼ばれるようになったといわれています。